

## 総合調整会議（2016. 11. 2）

○日時：平成28年11月2日（水） 午前8時45分～午前9時40分

○場所：栗東市役所3階談話室

○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

### <会議内容>

#### 1. 市長の指示事項

##### 市長からの指示

- ・市議会改革について、新たな委員会の設置や議会日程の追加等がされるという報告をいただいた。各部適切に対応できるように準備をすること。
- ・各部における懸案事項等については、報告、連絡、相談を欠かさずに、適切に対応すること。
- ・国の国道バイパス整備や県の葉山川跡地利用などの事業の進捗状況について、本市選出県議会議員と情報共有し意見交換を行う場を設ける予定である。その場で他にも報告する事業等ある場合は、元気創造政策課まで提出すること。
- ・教育委員会より治田学区の生徒数の推移に関して報告をもらったが、幼稚園と保育園についても児童数が増えることも想定される。施設の増築が必要となるのかなど、状況と課題を整理し適切に対応していくこと。

#### 2. 報告事項

##### 【案件名】平成28年度栗東市空き家等対策の経過について

→ 住宅課長から説明

- ・本市の空き家等対策の取り組みについて、現在の進捗状況と経過等の報告を行うものである。

[環境経済部長]

- ・空き家は戸建住宅のみを対象としているのか。共同住宅は対象外となるのか。

[住宅課長]

- ・戸建住宅と店舗付き戸建住宅を対象としている。共同住宅については、全戸が空室の場合のみ、対象としている。

[環境経済部長]

- ・共同住宅の空室についても、他の入居者にとっては、防犯の上の観点からも問題となる場合がある。今後の検討が必要な課題として認識をしてもらいたい。
- ・空き家対策については、根本的に課題を解決するために、本市独自の対策をする必要がある。

[副市長]

- ・先進地の事例を参考としながら、取り組みを進めること。  
[政策推進部長]
- ・現在254戸の空き家数があるが、何をベースに把握したのか。  
[住宅課長]
- ・固定資産台帳に掲載しているものをベースにしている。  
[教育部長]
- ・今後は、特定空家を指定して対策に取り組んでいくということか。  
[住宅課長]
- ・平成29年度に対策計画を策定して、取り組んでいく。

## 区分：了解

### 【案件名】(新) 学校給食共同調理場建設工事基本設計について

→ 教育総務課長から説明

- ・平成30年9月に稼動する予定の新施設について、施設の基本設計を作成したこと。その概要と今後の予定を報告するものである。

[市民部長]

- ・計画図面について、平面図だけが示されているが、施設の配置図等の他の図面はないのか。

[教育総務課長]

- ・11月20日開催する地元自治会への説明会では、平面図のみを配布する予定であり、同じ資料としている。

[環境経済部長]

- ・施設新築にあたり市内産木材を利用することや、給食食材に市内産の米や野菜などの使用を拡大し、地産地消の取り組みに対する考え方を示す必要があるのではないか。施設の構造概要を説明するだけでなく、それが実現するための課題や施設における対応方針を示してもらう必要がある。

[教育総務課長]

- ・農林部局とも調整しているが、市内産作物を継続的に一定の量を確保することが難しいなどの課題がある。

[環境経済部長]

- ・例えば、米飯給食では栗東産米で全て賄っていくという市としての確固たる方針を定めることで、農政部局に確保をしてもらうように調整をしてもらうことも必要である。

[市長]

- ・全庁的に取り組んでいかなければならない課題であるが、まずは内部調整を行いながら検討していくこと。

**区分：了解**

### 【案件名】平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について

→ 学校教育課長から説明

- ・全国学力・学習状況調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握し、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況等の改善に役立てる目的で、毎年前国全ての小中学校を対象に実施されている。
- ・今年度の本市における調査結果の分析と今後の学ぶ力の向上対策について、報告を行うものである。

**区分：了解**

### 3. 閉会

#### 副市長からの挨拶

- ・新年度予算編成や市議会12月定例会への準備など、年末に向けて事務の遺漏のないように適切に対応すること。

以上